新京日日新聞
夕刊
三月八日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税 一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

流産の危虞を脫し廣田內閣成立せん

下村宏氏は入閣を辭退す

今日親任式を擧行か

【東京國通】七日午前廣田外相と寺內大將との會見により組閣工作は漸次進捗し目下の情勢よりみれば大體八日午前中には閣員の顔觸れも決定して、廣田外相は閣員名簿を作成し同日午後中には親任式が擧行される見込みである

問題となつてゐるのは吉田、小原の兩氏

―藤沼庄平氏より發表―

【東京國通】新內閣書記官長として廣田外相を助けて組閣工作に當つてゐる藤沼庄平氏は七日午後六時左の如く發表した

一、陸軍との間の交渉は漸次進捗し流産の虞れなしとの確信を固めた

一、馬場英一、永田秀次郎兩氏の入閣は確實

一、目下問題となつてゐるのは吉田茂、小原直兩氏に就てである

一、下村宏氏は入閣を辭退した

一、寺內大將は七日夜歸京さるるが同夜中に會見することはあるまい

一、七日午後五時過組閣本部を出た川崎、永田、馬場の諸氏は午後八時頃本部に歸り第二段の細目的協議をする

一、政策については內閣成立後協議決定すべきものがあるが寺內大將談にある程度のことは組閣本部に於ても充分考慮實行の決意がある

內相は政黨外に

新方針で組閣に着手

＝陸軍側尚釋然たらず＝

【東京國通】廣田內閣の組閣は七日も終日陣痛の苦惱裡に終始して八日に持越された、即ち七日は廣田外相と寺內大將との會見によつて陸軍部內の組閣方針に對する要求が大體判明したので陸軍側の要求に基き從來の組閣方針に變更を加へることに決定し相踵いで組閣本部に參集した吉田、永田、馬場、川崎、小原の諸氏が廣田外相を中心に長時間に亙つて凝議した結果

一、外務大臣は首相の兼攝とする事

一、內務大臣は政黨以外の人を以て充てる事

一、小原法相の留任は斷念する事

一、下村氏の入閣は自發的辭退によつて取止める事

に大體決定しこれに代る清新なる人物を詮衡することにして最初の閣員詮衡の仕直しを行つて組閣を達成すべく最後の努力を竟中する事になつたゝ之に對し陸軍側が不滿ながら同意を與へれば八日中には新人物並に政黨側の入閣候補者を組閣本部に招いて廣田外相から入閣の交渉を開始し順調に進めば八日夕刻までには親任式を擧行し得るものと豫想されるに至つたが、陸軍側の廣田內閣組閣方針に對する不滿は容易に緩和されそうもない形勢にあるから八日の廣田寺內の再會見で問題がすらすらと解決することは困難視されてゐるので組閣途上に一縷の曙光を認めながらも尚ほ安心なり難い暗影が附纒ふてゐる狀態である

岡部長景子談

【東京國通】陸軍と廣田內閣組閣本部の間を往來して兩者の意見の接近に努力した岡部長景子は漸く組閣が軌道に乘つて進行を見る見透しがついたので七日午後二時半赤坂丹後町の自邸に入り左の如く語つた

今日は廣田さんや寺內大將その他の人と會つて色々話をしたが更に自分は馬場英一さんと會つて軍の情勢を說明、認識を深めてもらふやうに話して來た、元來廣田さんが馬場さんを除外して組閣工作を進めて來た爲に暗礁に乘上げてしまつたのであるが、これからは馬場さんを中心として相談をなし組閣工作を進めることになつたから軌道へ乘つて行くだらう

馬場さんは高橋財政を踏襲しないと言つてゐるが馬場さんの財政は急激に財界に大きなショックを與へないやうにして改善して行くといふのであるから軍部の方でも之を歡迎して居り、かやうな譯で馬場さんが組閣工作に參加してやつて行くこととなつたので漸く組閣も暗礁より軌道に乘り曙光を認め得るに至つた あれまでやつた組閣を全然白紙にかへつて遣り直すといふことは出來ないであらうがまあ既に決定してゐる中二人位はやめ、その上一二の動きは避けられまい、さうなれば廣田內閣は強力なものとならうし、軍の言ふた事は却つて廣田內閣によい結果を齎したとも言へやう

川崎文相語る

【東京國通】川崎文相は組閣本部に廣田外相を訪問組閣に就て協議した後、午後五時半町田商相を自邸に訪問、右結果を報告すると共に賴母木、大麻兩氏を交へて協議を遂げたが、その後で組閣狀況に就き左の如く語る

廣田外相と寺內大將との會見により或る一點が解決しさへすれば組閣工作は順調に進捗し、八日午後までには親任式の運びとなるであらう

南大將に說得され松岡總裁留任決定

松岡滿鐵總裁は參謀本部附に轉補された南大將に挨拶のため八日午前八時五十分着で來京、直に南大將を訪問したが驛頭で語る

南司令官が轉補されることゝなつたので挨拶のため來京した、僕の勇退に關しては未だ何ともいへないが止めるかも知れない

驛から直ちに官邸に南大將を訪問し約三時間にわたり懇談を重ねて辭去した松岡滿鐵總裁は正午理事公館に歸館したが親友南大將の離滿に對する衷心からの惜別の情に涙ぐんで語る

親交あつい南を滿洲から失ふことは殘念であり惜しいことだ、僕は個人として行動を共にしたいが今滿鐵を背負つてゐる公人だから輕々とは辭められない、南から辭めるなと意見され新任軍司令官の植田大將とも親しい間柄であるから從來通り滿洲に止まつて國策遂行のために働くことゝした

新閣僚顔觸を內定

本日陸軍側に提示

【東京國通】廣田內閣は陸軍の強硬態度によつて組閣に一頓挫を來したが、廣田外相は國家のため萬難を排し組閣を行ふこととなり種々詮衡の結果七日夜に至り大體左の如き顔觸れを內定八日これを陸軍側に提示してその諒解を求める事になつたが、陸軍側の意向如何によつては更に變更を見ることゝならう

職		氏名
總理大臣		廣田弘毅
外務大臣		（總理兼攝）
內務大臣	現調査局長官	吉田茂（又は有吉忠一）
大藏大臣		馬場鍈一
陸軍大臣	陸軍大將伯爵	寺內壽一
海軍大臣	海軍大將	永野修身
文部大臣	男爵	石黑忠篤
司法大臣		林賴三郎
農林大臣		島田俊雄（又は松野鶴平）
商工大臣		川崎卓吉
遞信大臣		賴母木桂吉（又は富田幸次郎）
鐵道大臣		前田米藏
拓務大臣		永田秀次郎
內閣書記官長		藤沼庄平
法制局長官		樋貝詮三

廢棄させた動機は佛ソ軍事同盟復活

條約精神の蹂躙に憤起す

【ベルリン六日發國通】フランス政府交包圍策を前に久しく國際情勢の推移を靜觀してゐたヒトラー總統は六日總統官邸に國防相フロンベルグ、外相ノイラート男、軍縮特使フオン・リッベントロップ氏ゲーリング空相、ゲッベルス宣傳相等同國の智囊を總動員して重要協議を遂げた結果愈々ロカルノ條約驅撃の重大決意を全世界に闡明するに決定した

右決定に基き外相ノイラート男は七日午前ベルリン駐劄英佛伊ベルギー各國大使を外務省に招致、ロカルノ條約に關するドイツ政府の決意を通達する豫定である、次で七日正午を期し緊急國會を召集、ヒトラー總統は特に佛ソ兩國政府が所謂相互援助條約の假面の下に軍事同盟を復活しロカルノ條約の精神を蹂躪した事實を指摘、事情斯の如くなる以上ドイツ政府に於ても最早ベルサイユ條約第四十二條乃至四十三條を遵守してライン非武裝地帶を現狀の儘放任出來ぬ旨を力說する意圖と解される

ヒトラー總統宣言の要旨と解されるところ次の通り

一、佛ソ兩國政府が相互援助條約を締結し英佛兩國參謀本部が軍事協力取決めを締結して事實上ロカルノの條約の名分と主旨とを沒却するに至つたのは遺憾に堪へない、ドイツ政府に於ては從來忠實にロカルノ條約の精神を遵守して來たが、各國政府に於ては反省機宜の處置を講じなければドイツ政府に於てもヴエルサイユ條約第四十二條並に四十三條を破棄するの已むなきに至るであらう

一、ライン非步裝條項を撤廢した後ドイツ政府は各國政府と完全に均等な地位に立ち新な且つより好いロカルノ體制に就き各國政府と協議を遂げよう

一、特にフランス、ベルギー兩國政府に對しては西部國境線につき新な保障を提示する用意あり

ロカルノ條約

ドイツ政府、突如廢棄を通牒す

ノイラート獨外相から英佛伊白四國大使へ

【ベルリン七日發國通】ドイツ外相フオン・ノイラート男は七日午前十一時ベルリン駐劄英佛伊白四ケ國大使を外務省に招致、獨政府はロカルノ條約を廢棄する旨の正式通牒を手交した

獨政府の通達要旨

【ベルリン七日發國通】ドイツ政府が七日午前ベルリン駐劄各大使に通達した要旨左の如し

一、國際情勢の變化に徴しドイツ政府は茲にロカルノ條約を廢棄する

一、但し安全保障に對する佛白兩國政府の要請に就ては充分考慮を加へる用意あり ロカルノ條約に代るべき新條約の締結に就き各國政府との交渉に應ずるであらう

一、新條約の締結と共にドイツ政府は一定の保障條件の下に國際聯盟に復歸する用意を有する

佛國、聯盟に提訴し獨彈劾に決定

【パリ七日發國通】フランス政府はヒツトラー總統の重大通告に接し首腦部協議の結果三月十日聯盟理事會に提訴して獨逸政府の行動を彈劾するに決し、同時に歸休陸軍各部隊に對しては即時歸休を切上げ七日夕刻に所屬聯隊に歸還する樣命令するに決した模樣である

空軍も飛來

【ケルン七日發國通】ドイツ軍の精銳二千は高射砲部隊並に戰車隊を伴ひ七日拂曉ライン非武裝地帶主要都市に侵入し、次でドイツ空軍の精銳數臺は爆音勇ましくケルン上空に飛來、戰車隊は街上に示威行進を敢行した

英は悲觀的觀測

【ロンドン七日發國通】英國政府は聯盟代表メーデン外相の歸還を迎へ歐洲政局今後の對策につき愼重考慮を重ねてゐるが、ヒツトラーがロカルノ條約破棄の宣言を發表するに決定したとの報道に果然緊張してゐる、伊エ兩國間の紛爭については英佛伊三國政府間に頻りに折衝が進められてゐるが和協工作の前途は俄かに樂觀を許さず、英國政府に於ても愈々石油制裁案強行を提言するほかないのではないかと懸念される、當初獨伊兩國政府が共同してロカルノ條約を破棄する方針だとの報道に接し英國政府に於ては直ちにローマ・ベルリン駐劄大使に訓令し同時に兩國政府がロカルノ條約から脫退した場合に於ける條約の合理的效果につき外務省法律顧問に研究方を命令したがドイツ政府の決意漸へ判明すると共に情勢を重視し次の悲觀的觀測を下してゐる

一、イタリーが媾和案を應諾せずドイツ政府がロカルノ條約破棄の行動に出れば歐洲の政局は極めて重大な破局に當面しやう イタリー政府が和協工作を拒否する場合には石油制裁案を斷行するほかはないと見られるが石油制裁案の斷行と共にイタリー政府は勿論ハンガリア、オーストリア、アルバニア各國政府並にスイス政府までも國際聯盟を脫退することとなるかも知れない

一、イタリー政府はロカルノ條約から脫退し從つて同條約を保障する見地からフランス政府との間に締結した軍事協定を破棄しやう

一、ドイツ政府はベルサイユ條約第四十二條乃至第四十三條を破棄しラインランドの武裝化を斷行しやう

ラインランドに獨の大部隊進軍

ロカルノ條約廢棄と同時に

【ケルン七日發國通】ヒトラー首相がロカルノ條約廢棄を外國政府に通達すると相前後してドイツ國軍の大部隊は七日早朝堂々隊伍ラインランドに進軍した、世界大戰以來十餘年ベルサイユ條約第四十二條、第四十三條の明文の下に所謂非武裝地帶として正規軍を見なかつたラインランドにも再びドイツ軍旗が躍るに至つた

獨陸軍省否定

【ベルリン七日發國通】ドイツ軍がラインランド非武裝地帶に侵入したとの報道に關しドイツ陸軍省並に宣傳省當局は七日正午過ぎ之を否定、斯る事實はない旨言明した

名譽の傷病兵

明日內地凱旋の途に

ハルビン及新京衞戍病院で加療中の名譽の傷病兵五十四名は九日午前九時新京發列車で大連經由內地へ凱旋する事となつたが途中沿線各地よりも同じく傷病兵五十一名が合する事になつてゐる

イタリーの暴威を聯盟持て餘す

赤十字班爆擊問題化

【ジュネーヴ六日發國通】イタリー空軍のアヂスアベバ上空進出並に赤十字班爆擊に恰も十三人委員會が戰鬪行爲停止を勸告した直後とて聯盟當局を少なからず面喰はしてゐる聯盟當局の見解は次の通り

イタリー機が萬國赤十字條約を無視して赤十字班に爆擊を加へ、剩つさへ英國人少佐を即死せしめたことは十三人委員會が戰鬪行爲即時中止の勸告を行つた直後であり、イタリー政府に於ても事態をこれ以上紛糾せしめぬことを期待されてゐた際とて只々驚くの外ない イタリー軍のかゝる行動は益々事態を惡化せしめるものだ

佐村中將死去

【東京國通】陸軍中央教育總監部附佐村益雄中將は中野の自邸で病氣療養中のところ七日午後八時五分死去した、享年五十五

人事往來

▲松岡滿鐵總裁 八日午前八時五十分來京大連より
▲實熙氏（滿洲國參議）七日午後奉天へ
▲齋藤薰氏（山岡部隊）八日午前遼陽へ
▲矢野善隆氏（近藤林業）同 來京國都ホテル
▲富田常松氏（綿布商）同
▲濱田歡二氏（乾電池）同
▲小林香可氏（同）同
▲久保田吉律氏（會社員）同
▲岡田錦藏氏（乾電池）同
▲尾崎淳一郎氏（滿洲石油）同 七日午後大連へ
▲肥田耕三氏（大倉組）同奉天へ
▲高須紘三氏（電車會社）同奉天へ
▲松林隆裕氏（石鹸業）同來京國都ホテル
▲齋田郁介氏（著述業）同
▲久米孝一氏（三菱商事）同來京名古屋ホテル
▲飯島滿治氏 同
▲岡本松太郎氏（帝國生命大連支店長）同
▲齋田榮一氏（綿布商）同ハルビンへ
▲馬場龜雄氏（土木業）同大連へ
▲福永定治郎氏（三等主計正）同ハルビンへ
▲西田喜藏氏（古河電氣大連支店長）同來京大和ホテル
▲アルヘルマン氏（貿易商）同
▲石光憲治氏（會社員）同
▲藤原喜藏氏（北鮮製紙專務）同
▲加藤徹夫（滿洲自動車運輸）同
▲岩崎榮氏（同）同
▲松井太郎氏（滿醫大教授）同
▲小川松雄氏（承徳專賣署）同奉天へ
▲小倉鐸二氏（大連農事會社專務）同大連へ
▲石崎剛氏（滿鐵）同大連へ
▲矢野耕治氏（製鋼所員）同鞍山へ
▲大倉今比古氏（官吏）同吉林へ
▲石村長七氏（奉天鐵事所長）同奉天へ
▲赤染房太郎氏（會社員）同
▲平林正五郎氏（海苔商）同ハルビンへ
▲土岐淺太郎氏（藥業）同四平街へ
▲二川虎（商業）同ハルビンへ
▲渡邊昇吾氏（貿易商）同吉林へ
▲山內勝雄氏（大連火災重役）同大連へ
▲川[illegible]一氏（會社員）同
▲今井懋五郎氏（同）同吉林へ
▲吉田寅造氏（東洋火災）同
▲中田會太郎氏（會社員）同大連へ
▲杉本京作氏（三井物産）同吉林へ
▲佐々木孝三郎氏（奉天興信所長）同奉天へ

發展國都の護りに 消防隊で聯合演習
高層建築の不時の災厄等に 應急處置の教育訓練

新京滿鐵消防隊では文化都市の發展につれて高層建築物、諸學校の増加するに鑑みこれ等建物に一朝火災事故の發生の際に從事員、生徒、兒童たちのとるべき應急處置、避難消火、手當てなどについて教育訓練が計畫され今夏六月から滿鐵社員消費組合、商業學校、女學校、八島、三笠小學校などで國都消防隊長が講演を行ひ不意に學校、消防隊の聯合演習を實施すべく計畫が進められてゐる

佛駐日大使更替

【パリ六日發國通】フランス政府は駐日大使ピラ氏が近く引退するに伴ひ現アンカラ駐箚大使アルベール・カムメレル氏を東京駐箚大使に任命することに決定した模樣である

京濱線のトラ 禁斷の一札

新京城内東五馬路かど被服製造業主小澤年三（四三）―假名―はハルビンで商用を終へひどくトラになつて七日午後十一時新京に歸るべく乘車したまではよかつたが折惡しく汽車は超滿員、それがぐつと癪に來て「席を提供しろ」とばかり折柄通りかゝつた列車ボーイをなぐりつけ、見かねてとり靜めに來た滿人警乘員に向つては「何でえ貴樣達が俺をとり調べる權利がどこにある」とばかり憤然たる乘客を尻目にます／＼暴れ毒舌を振ふので致方なく引つ捕へて八日午前六時二十五分新京驛着とともに驛憲兵出張所に引き渡したところ憲兵の前で平身叩頭すご／＼と引き下るとともに歸宅後一札「かゝる行狀は今後絶對致さぬ事誓約候也」を持參に及んだ

支那駐屯軍御慰問に 中島侍從武官御差遣

（東京國通）畏き邊りでは寒冷の嚴しき北支那に駐屯する我皇軍御慰問のため侍從武官中島鐵藏少將を御差遣あらせられる旨畏くも御沙汰があつたが同少將は七日午後九時半東京驛出發、聖旨並に令旨を捧じて支那駐屯軍の將兵に對して御紋章入り煙草、清酒等の御下賜品を傳達する筈である

カ號艦長等に 勳章傳達式

【神戸國通】神戸寄港中のドイツ巡洋艦カール・ルーエ第艦長ジーメンス中佐並に同副艦長ロゲ少佐に對する勳章傳達式は七日午前八時十五分から神戸海軍監督事務所で擧行ベネット大使館附武官、ロゲナー獨逸總領事、その他立會の下に海相代理梶本監督長より艦長には勳四等旭日章、副艦長には瑞寶章を夫々傳達式後乾杯して散會した

天野少佐遺族に 各方面の同情集まる

【東京國通】叛亂將校に歸順を勸告して果し得ず自決した天野武輔少佐の遺族の爲に一度同期生委員が全國の同期生に呼びかけたことが新聞紙上に發表されるや遠く朝鮮或は滿洲から北は北海道方面まで各方面からの同情は翕然として集り、遺族は勿論同期生委員一同もこれぞ天野少佐の武士道的最後に對して一般の認識が深められ且つ意義づけられたものとして非常に喜んで居る、六日朝六時半頃この好適例として麻布步兵第三聯隊に十二、三歲の女兒が訪れて僅かなお金ですが御線香でも買つて差上げて下さいと五十錢包を差出し故天野少佐係の石川少佐を感激せしめた、又品川の某篤志家も五百圓の香奠を差出し某大官が自家用の自動車で乘つけ靈前へと金百圓を贈つた他實業家或は同少佐が嘗て中尉時代に仕へてゐたといふ從卒の一人が涙ながらに香奠を差出して歸つたといふ美談もあり、續々と各方面から同情の聲が集つて居り委員は大多忙を極めてゐる

奉天に勸業銀行 設立運動起る

【奉天國通】奉天市内に於ける中小商工業者の金融界は事變直後の金融逼迫の後をうけて以來漸次常道にかへりつゝあるとは言へ事變後急激なる日本經濟組織の滿洲浸潤に伴ひ最近在奉中小商工業者間に融資銀行設立要望の聲が高まりつゝある現狀に鑑み奉天市政公署では市内商工業者の全面的發達助成のため民間有力者に呼びかけて勸業銀行設立助成運動を起す筈で、近く準備委員會を開催具體案を練ることとなつたが中小商工業者への一大福音として期待されてゐる

施療班を組織して 各學校を巡回 ＝滿洲國學用品承辦處＝

滿洲國學用品承辦處ではさきに特別市内各小學校の貧困兒童十八名に對し、學用品一切の無料供給を申出で既に第一回を支給したが、同處では更に貧困兒童のために施療班をも組織し、各學校を巡回して無料診療實費施藥などを行ふべくこのほど韓特別市長に申出でたが、同市長も大喜びで同處の奇篤に痛く感謝の意を表してゐる

林業會社披露宴

滿洲林業會社は今度一郡ビルに事務所を持ち愈々業務を開始することゝなつたが八日午後六時より八千代で實業部財政部滿鐵其他林業關係者を招待、披露の宴を催した

妻の身を賣つて 情婦こ亂倫生活
涙の金も狂戀男に甲斐なし

いくら人情荒んだ滿洲とは言へ永年つれ添つた妻を遠い奧地に賣り飛ばし、今また可愛い實子を冷たい人手に渡し自分は現在内地からわざ／＼つれ來つた昔の馴染女としかも妻の涙の身賣り金で怯懦と淫奔な生活に惑溺してゐる不埒な男がある―原籍福岡縣糟屋郡大川村笹岡町、住所不定元笹岡鑛業株式會社事務員長國雄（三二）は去年も暮押しつまる十二月下旬不景氣な内地に見切りをつけ、滿洲の奧地で料理屋を開業して一旗擧げんものと一切の家財道具賣り拂つて妻シヅノ（二九）ならびに六才になる男の子を伴つて渡滿したが不用意にも既に新京に着いた際は懷中無一物で途方に暮れてゐるのを驛詰丸山巡査が大いに同情し早速シヅノを三笠町國都樂園（當時國際花壇）に、長には他に適當な就職口を斡旋してやることにするとともに長の知人新京東二條通り二九に寺尾福松氏を尋ねてやつたが折惡しく商用で皁倫に轉居後でこゝにはからずも親子三名は同所桑職石井介二郎氏（四三）―假名の情で一ゞ先其處に身を落着けることになつた、ところが長は其後どうしても初志を貫徹すると稱し赤尾氏をたよつて百圓の金を借り受け女をつれて來るべく一月十三日内地へ、同時に妻子も赤尾氏を頼り倫に赴いた、一月二十一日長は嘗ての女シゲ（二一）を伴ひ歸京、岩井氏方に一泊の後二人は相携へて市内曙町の圓宿新京閣に井上芳太郎、妻茂子と僞稱身を隱したが二人の情痴の生活はこゝにその第一步を踏み出したのである一方妻子は二十一日わけあつて再度岩井氏方に歸宅したが二、三日後突然長、寺尾氏を中心にシゲノに對する身賣り話が持ち上り女も「夫のためならどんな苦勞もいとはぬ」と固い決心の臍を固めて博克圖に赴いたが夫の酷い行狀を知つたシゲノは遂に強い嫉妬と憎惡の念に堪えられず引きかへして夫の不人情と其非行を詰るべく圓宿から圓宿へと轉々する淫奔の二人を追つたが、その眞情も邪戀の虜となつた夫に受け入れられやう筈もなく無理強ひに強いられ

一方自棄も手傳つて「これからは無茶をしてやる」と稱しつゝ哀れにも二月十一日博克圖一面街武藏野料理店に三百七十圓で身を賣られ藝名サッキと名乘り現在人肉の市に人手にあるいとしの子の名を呼びつつ僕憫の其日其夜を送つてゐるのである

森林經營の合理化へ 森林事務署乘出す

實業部林務司直轄の森林事務署では全國的に森林經營の合理化を圖るため近く官制の改革を斷行し、大規模な官行伐採、植林及植林調査等を行はんとしてゐる、從來林務司直轄の森林事務署は全國二十三ヶ處に散在してゐたが本年度より二十四ヶ處となり同時にその名稱も林務署と變更、多分三月二十日頃には之が官制の公布を見る模樣で、全國一齊に森林の合理的經營に着手し、先づ大々的な官行伐採に伴ふ必然的結果として牡丹江より三道河子、龍井より古洞河、延吉より草皮溝に至る三ヶ處に約二百粁の森林鐵道を敷設し、尚植林事業の第一步として淨月潭及熱河方面に經費一萬圓を投じて植林調査を行ふことゝなつた

第二世邦人の 怪童現る

【東京國通】ハワイ生れの第二世で僅か十五歲にして體重卅貫身長五尺四寸、しかも年に二貫目宛增加すると云ふ怪童が現はれた、ホノルルの農産物問屋岡山縣高塚光次氏の長男仁君で自分は大の相撲好き、目下全ハワイ角界の三役所だが近く歸朝本場の土俵を踏み末は天下の横綱じやと意氣込んでゐる

山口縣下女學校 英語を撤廢

【下關國通】山口縣下の縣及び公私立廿二高等女學校では來る五月の新學年から全國に魁けて一齊英語科の撤廢を斷行することになつたが、一、二兩學年に限つて一週間二時間ローマ字、一般的な英語などを常識として必要な程度敎授するが、それも自由科目の程度に止め、之に依つて空く時間を修身、家事、裁縫に振向けて純日本の娘を育成する方針であると

引揚げ命令あるも ソ聯人動かず

【チチハル國通】當地並に滿洲里その他の領事館では在滿ソ聯人の引揚準備乃至即刻引揚げを同國人に勸告した事實あり、總領事館當局の指令に基くものとみられるがソ聯その後の實情は本國引揚げをなすもの殆ど見當らず滿洲國官憲では右引揚命令を以て全くソ聯一流の政治的策動と認め冷靜に構へて靜觀的態度を持してゐる

越田前總領事歸朝

【神戸國通】バタビア總領事として約二年半在勤、その間日蘭會商等に努めた越田前總領事、小谷副總領事は七日午後神戸入港のチエリボン號で歸朝同夜東上したが、越田總領事は左の如く語つた

日蘭本會商も失敗に終りカイロ豫備會商も困難に逢着してゐるが我々としては飽く迄も一時的經濟政策を以てせず、兩國親善を眼目として數次の懇談を重ねた結果兩國間の諒解を深められたことがせめてもの收穫である、最近同地に於て對日親善空氣起り局面が明朗化したことは爭はれない、各種の制限令も日本だけを對照とするものでなく輸出入品中日本品が最も有利條件におかれるが自國製品保護政策が國際的傾向だけに我々として相當考慮する必要があらう

共產軍太原に迫る 市中は大混亂

【東京國通】河北省に隣接する山西省は共產軍の手に占領されんとしてゐるが之が實現すれば我國の利害に重大な影響を及ぼすものとして軍視されてゐるが、右に關し七日確實なる方面へ左の如き情報があつた

先日來より徐海東の指揮する共產軍五千は汾陽を占領し、之が爲山西の省城太原は戒嚴令が布かれ、市民は續々避難をなし大混雜を呈してゐる

尙毛澤東指揮の共產軍の中にはソ聯兵が加はつてゐることが確實である

長岡總務廳長 退院

腎臟炎で興安病院に入院中の長岡總務廳長は八日朝九時ごろ退院、久し振りに廳長官邸に歸つたが九日から出廳することゝなつた

明日から出廳と 廳長元氣

長岡總務廳長は退院したばかりの人とは思へない元氣さで語る

蛋白もすつかりなくなつたし醫者も仕事をして良いといふから明日から出廳して仕事をする積りです

晝間の中央通りに 火事騷ぎ
電報局二階の小火に野次黑山

八日午前十一時二十五分ごろ中央通り新京中央郵便局構内新築中の中央電報局建物樓上から盛に火を噴き出してゐるのを通行人が發見、急報に接し新京消防隊、滿洲國消防署が馳つけて、消火に努めた結果同四十五分大事にいたらず鎭火した、原因は同建物が未完成のものでその二階をとり敢へず電報局で使用してゐたので天井が凍らぬやう樓上一杯に高粱殼を多量積んでゐたのに煙突から出た火の粉が高粱殼に落ちて延燒したものらしい、なほ内部の事務室には支障なかつたが、晝間しかも目拔きの場所柄とて野次馬は黑山の樣に集まり、一時は憂慮されてゐた

日本海商業委員會開催

【東京國通】日滿實業協會日本海商業委員會は來る十日から二日間丸の内商工會議所で全體會議を開催、拓務、外務、鐵道、商工、農林各省、對滿事務局、朝鮮總督府、滿鐵、北日本汽船等の關係者出席の上北鮮航路問題の大綱を決定することゝなつた

卓球競技大會終る

新京卓球界の劈頭を飾る大滿洲帝國卓球協會主催の推薦選手模範卓球競技大會は八日正午から商業學校講堂で選手の入場ついで李會長の挨拶あつて競技に入り華々しく擧行された

春日和の日曜日に "西公園"も賑ふ
變動なき限り日一日春へ進軍

毛皮オーヴァーの襟を立てゝふるへあがつてゐた新京にも早春のあしおとがつひそこまでやつて來た、八日の日曜日は快晴に惠まれ今まで屋内に閉じこめられてゐた人々はどつと戶外に押し出して西公園には家族づれのまどらかな風景がそこゝに見うけられたこの氣溫は順調かどうか觀測所に伺を立てると

新京觀測所二十七年間に於ける三月初旬の平均溫度は零下七度二分本年の平均溫度は零下十二度二分で五度低い、七日の如き最高溫度は零下二度まで昇つたが朝夕の溫度がなほ相當降るので平均溫度は低いわけだがいづれにしても特殊の變動なき限り日一日暖かになるものと思はれると語つてゐる

庭球部でも 體育館期成運動

新京體育聯盟庭球部では七日午後五時よりヤマトホテルで懇談會を開いたが、その結果綜合體育館の建設期成委員會を結成し體聯各部門に呼び掛け之が達成を期することゝなつたが期成委員會委員は左の如くである

岩淵（三笠小學校）原田（需用處）長澤（國際運輸）太田（瓦斯會社）松山（電業）久保（電々）加藤（中銀）黑田（市政公署）幸田（協和會）平井（新京警察）

尙委員長は八日午後四時よりヤマトホテルに開かれる幹事會で決定をみる筈である

今晩の主なる演藝放送

▲七・〇〇俚謠勝曲―長野市菊田劇場より中繼―▲七・一五漫才「つひ春風に誘はれて」（大阪）一輪亭花蝶、三遊亭川柳▲七・三五浪花節（東草紙つゞれの錦）―長野市菊舊劇場より中繼―▲八・〇〇歌謠曲―長野市菊舊劇場より中繼喜代三

天氣と氣溫

明日の天氣　西の風晴
日の出　前六時〇四分
日の入　後五時卅八分
月の出　後六時五十四分
月の入　前五時五十七分
けふの氣溫　最高零下三度二　最低零下十四度九

あすの番組

ラヂオ

（M・T・C・Y）新京放送局　九日（月曜）

朝

六・三〇　建國體操（滿語）
六・五一　ラヂオ體操（東京）
七・一〇　氣象通報（大連）
七・一五　初等滿語講座（奉天）　講師　秩父固太郎
七・四〇　初等日語講座（奉天）　講師　近藤喜助
八・一〇　朝の音樂（レコード）（大連）
管絃樂　一、ロシヤの民謠選曲集　二、音樂玉手箱　リアードフ作曲　倫敦交響管絃團　指揮　コーツ
八・三〇　經濟市況（東京）
九・〇〇　早晨演奏

晝

九・二〇　料理獻立（大連）
九・四〇　經濟市況
一〇・〇〇　家庭講座　女性と身だしなみ　都甲アザ子
一〇・三五　家庭メモ
一〇・三五　經濟市況（大連）
一〇・四〇　經濟市況（東京）
一〇・五九　時報（東京）
一一・四〇　ニュース（東市引續き新京）
〇・〇一　經濟市況（大連引續き新京）
〇・二〇　晝の演藝（レコード）
流行歌　忍び笠　大宮小夜子
流れ旅（すべる隼）　兒玉好雄
（もつれ糸　蛇まくら）　市丸
〇・四〇　建國體操（滿語）
一・〇〇　白天演藝（哈爾濱）　一、清唱　郭四鳳　二、鹿胎恨　廣太莊　絃　李俊峰　外二名
一・二〇　ニュース（滿語）
一・三〇　成人講座（滿語）　生活（七）　王鐵山
一・五〇　下午演奏
二・〇〇　經濟市況（大連）
引續き　日用品値段（滿語）
二・五〇　經濟市況（東京）
三・〇〇　ニュース（東京）
三・三〇　經濟市況（大連引續き新京）
三・五〇　ニュース（鮮語）
四・三〇　ニュース　引續き　演藝（鮮語）

ラヂオの御用は　東京無線　電四九二〇番

四・五〇　ニュース（英語）
五・〇〇　子供の時間（東京）　偉人物語　大村益次郎（一）　脚色並演出　東京放送童話研究會
五・二〇　コドモの新聞（東京）
五・二五　氣象通報　番組豫告　關屋五十二

夜

六・〇〇　ニュース（東京）
六・二〇　今晩の番組・官廳公示
六・二五　政府公報（滿語）
六・三〇　建國記念講座（第七講）　我國司法制度　司法部秘書官　楊孝則
七・〇〇　詩吟（東京）　森口白鮎
引續き　常磐津（東京）　花舞臺霞猿曳（うつぼ）
七・二五　落語（東京）　紺田屋　三遊亭圓歌
七・五〇　管絃樂（東京）（通俗名曲定期演奏第三回）　新交響樂團　指揮　ニコライ・シフコルブラット　組曲「アルルの女」　ビゼー作曲
八・三〇　時報　ニュース（東京）
八・四五　ニュース・經濟市況　引續き　氣象通報・番組豫告
九・〇〇　舊劇（哈爾濱）　閻府　唱　傳雪岑　于佐臣　場面　陳慶元　外六名
一〇・〇〇　北滿の時間（哈爾濱）

明晩はビゼーの力作　組曲「アルルの女」

AKの通俗名曲定期演奏第三回

後七・五〇

新交響樂團　指揮　ニコライ・シフコルブラット

「アルルの女」はフランスの文豪ドーデーの同名の戲曲のためにビゼー（明治八年歿）が作曲した劇中音樂で演奏會用に二つの組曲が出來てゐる劇はフランスの片田舍の事で富裕な農夫の息フレデリがアルル（フランスの南方）生れの女を愛し、この女の性質がよくないので前からの許嫁ヴイヴエットと結婚しようとしてなほ想ひ切れず煩惱の末自殺するといふ筋である。

第一組曲

一、前奏曲　これは劇の前奏曲として用ひられるもの。フランス南部のクリスマスの歌「王樣の行進」といふ旋律による華やかな調べに起り、一轉して靜かな旋律によつてフレデリの愚かな弟が描寫され再び轉じてフレデリの狂はしい情熱をあらはす曲調となる。

二、メヌエット舞曲　これは原作では第三幕の間奏曲として使はれる。美しい古風な舞曲である。

三、アダヂエット　題の意味は「ゆつくりと奏する」といふ奏法上の指定である。これは絃樂合奏で奏せられる優美なもので老僕バルタザールと老婆ルノーとが何十年の別れの後に再會して昔の愛情を語り合ふ場面につけられた音樂である。

四、カリヨン　組鐘の鳴りひゞく樣を描いた曲。第三幕への前奏曲である。

第二組曲

一、田園曲　南フランスの田園らしいのどかな、明るい氣分のあふれた曲である。第二幕第一場の前奏曲となつてゐる。

二、間奏曲　宗教的な靜かなしらべ。第二幕第二場への前曲である。

三、メヌエット　これはフルート獨奏によるもので、劇の中では使はれない。「ベルトの美しき娘」といふ歌劇の第三幕間奏曲

四、ファランドール舞曲　ファランドールといふのは南部フランス、プローヴァンスで聖エロア祭の時人々がをどり狂ふ行進曲風の舞曲である。この曲は前奏曲のやうに「王樣の行進」ではじまる。そのあとからら純粹なファランドールがあらはれる。この樂節は繰返されて終りまでつゞく。そして二度三度と繰返される度に強さを加へる。

三遊亭圓歌さんの落語「紺田屋」

▽……後七時廿五分東京より

京都三條に紺田屋清兵衛といふ縮緬問屋があつた。この夫婦の中の一人の娘お絹は三條小町といはれた程の美人であつたがある日の事枕もあがらぬ大病になり死んで了つた。そこで泣く〳〵葬式を出し死骸に裾模樣の着物を着せ三百兩の金を棺へ入れて西大谷の別院の墓地へ土葬にしてうめた。

……三遊亭圓歌さん

其夜手代の新七が墓場へ行き三百兩の財布を取らうとすると、その拍子にお絹が生き返つた。お絹は一度死んだものなので兩親に默つて新七と江戸へ出て馬道へ家を持ち呉服屋を始めた所が五年の月日も過ぎ商賣は段々榮へ家庭圓滿、縮緬問屋を出し名も紺田屋として大繁昌、何不足もなく生活してゐた。一方京都の方では娘が死ぬ、お絹の聟に仕樣と思つた新七の姿が消えそれからは惡い事ばかり續き遂に店を閉ぢ兩親は信仰する觀音樣を信じながら諸國を巡禮して歩く樣になつて了つた。十年目のある日兩親は淺草觀音に參詣した時偶然に新七お絹に巡り合ひ老夫婦は淚を流して喜こぶといふお話。

「花舞臺霞の猿曳」（うつぼ）

詩吟に引續き　常磐津

浄るり…三上寅吉
三味線…常磐津三吾
上調子…常磐津三女

三上氏は藝名を常磐津大和太夫といひ本年七十二才、職業は刷毛職、今日迄約十五年間故文字太夫及文字豐志について學ぶ、三回目の合格

「畏つてござると立上り、只今又有るまじき御望は、成らぬ殿樣殺せとある。いへば俺ともに、只一矢にて射殺すと引くに引かれぬ強弓の、仰はかなき今日の仕儀「コレましよ「小猿のときから飼ひ置いて「朝夕の慰さへ、そちが陰にて樂々と、暮らせしものを情ない「畜生なれどもよう聞けよ「せめて今度は人間に生れ變つて來るやうに、數へこんだる一節に「エエさりとは〳〵エ、又有ろかいなさんな又あろかいな「是非なく〳〵も立ちあがり、振上し鞭の下、廻る小猿のいぢらしさ「アレ〳〵今のを御覽なされしか「うち殺さるる鞭とは知らず船漕ぐ眞似をしまするわいの「そんなら何といふ、殺さるるとは知らいで藝をするかや「畜生でさへ物を知るに、如何に主命なればとて「ものの哀れもかへり見ず、何うして夫れが殺されう「命を助けて連れて歸りや「エエ夫れは誠でござりまするか「おいのう「ヤレ〳〵嬉しや〳〵お禮に猿を舞はせませう天下泰平、御武運長久御祈禱に、猿が參つて能仕まつる「御知行も、まさる目出度、踊るが手元面白やハンヤコリヤ〳〵〳〵黃金の數々積揃へ、庭に黃金の花盛り、花實も榮ふ目出度さよ「さらば我等は御暇と行くを引留め「これ待つた「そりやまアなんのことぢやいなア、私しやお前にうちこんで、だまされて咲くコレに何ぢやい室の梅、徒鳴きかける黃鳥菜、なと納豆の朝每に飛んで行きたやきりと、見れば見る程くつ主の側、水際のたつよい男男やもめと南瓜の蔓は、どこまでもさいかち原の中までも、こちやお前とならば鬪やせぬ、お前と女夫にななるならば、お薯や好きないしく〳〵を、斷物したが憎いかへ「エエ女子には何かなる、こがれこがれし御姿を「繪には書かせはせぬものを、のろけざほれたが分るまい。まいまい廻るは煤拂ひ、枝も榮えて葉も茂る、お目出たや「さうに三人立ちかかり、三筋の霞猿曳や、橘花繁る花舞臺、笑ひ興じて祝しける。

詩吟三題

後七時東京よりの

森口白鮎

森口氏は本名は正則、熊本縣に生れ三十三才、書家で號を白鮎といひ小室翠雲門下で日本美術協會々員詩吟は別に師につかず新人放送は今回が初合格

一、芳野懷古　藤井竹外作
古陵の松柏天飇に吼ゆ、山寺春を尋ぬれば春寂寥、眉雪の老僧時に帚くことを輟め、落花深きところ南朝を說く

……森口白鮎さん

二、友亡月照十七回忌辰の作　西鄕南洲作
相約して淵に投ず後先無し　豈に圖らんや波上再生の緣　頭を回らせば十有餘年の夢　空しく幽冥を隔てゝ墓前に哭す

三、都を出づるの作　賴三樹三郎作
當年の意氣雲を凌がんと欲す、快馬東を馳せて山を見ず、今日危途春雨冷かなり　檻車夢を動かす函關を度る

三月九日　月曜　舊二月十六日　庚寅　大安　閉　心宿

●一白の人　勤勞を厭はず實行を先にして喜を見る吉日　丁と坤と辛が吉
●二黑の人　勇奮して進まれば勢力次第に伸ぶべき日　戌と亥と丑が吉
●三碧の人　諸事穩かならず自由を欠き意の如くならず　丁と丑と寅が吉
●四綠の人　前途に不安あるも氣折れせず忍苦すべき日　丁と庚と丑が吉
●五黃の人　一家圓滿に足並を揃へて前進せらるゝに吉　巳と辛と戌が吉
●六白の人　甘言誘惑の罠に罹り易き日志を堅固に持て　丙と丁と戌が吉

●七赤の人　自己の力を頼み慢心すれば災を招く事あり　巳と丁と亥が吉
●八白の人　機會自ら廻り來りて活動自在に功果を揚ぐ　巳と辛と戌が吉
●九紫の人　終始怠らず常業に勉むれば良果を結ぶべし　甲と庚と壬が吉

お母様に御注意

受験勉強の子供に酸性の食物は悪い

―肉や卵を無闇に與へる害―

お子様の非常時ともいふべき受験期が迫つて參りました。小さな身に全勢力を傾注しての試験勉強は、全くいとほしい限りですが、またそれだけに健康の上にも平常とは異つた注意を拂ふことが肝要です。

親心としては、過度の勉強のために、頭も身體も疲れるであらうから、なるべく

榮養に富む食物

を澤山與へて、衰弱を防ぎたいといふのが當然でありますが、その榮養に富む食物として普通にまづ第一に誰もが與へたがるのが、肉や卵、牛乳、或はそれに類似の成分を持つ榮養劑であります。

ところが斯ういふ食品を榮養價の高いものと考へるのは、蛋白質や脂肪の榮養價値だけを考へた、舊い榮養學の思想でありまして、今日では蛋白質や脂肪の過剰から來る種々の弊害が明らかにされて居ります。その中でも最近殊に注意されて來たのは、これらの食品が人體内の血液とか、淋巴液とかいふ、つまり體内の水分に對してその成分に或る有害な變化を起させることであります。

體内の水分――體液は、常にアルカリ性に傾いて居るのであつて、これは健康の保持上非常に大切なことであります。もしそのアルカリ性が減退して、反對に酸性に傾いて來ますと、傳染性の病氣に罹り易くなり、抵抗力は減退し、

頭腦の働きも鈍く

なつて來ます。

肉とか卵とかは、この體液をアルカリ性から酸性にかへる働きを持つ食物で、からいふ食物を總括して酸性食物といひ、野菜や果物の大部分はその反對でアルカリ性食物といひます。それで平常でもさうですが、殊に試験勉強の時などは、酸性の食物は避けなければなりません。

それと今一つ氣を付けなければならない事は、勉強時は運動不足のため、消化不良や便秘に陷りやすいので、これを防ぐ心掛けが必要であります。

消化不良を防ぐためには、食物を多食しないで、胃腸の消化作用を強めることであります。「腹の皮が張ると、目の皮がたるむ」といふ俗諺がありますやうに多食することは、その方に血液を多く要して、頭腦の働きを鈍らせます。また

便秘が頭に悪い

ことは、便通が幾日もないと、頭がボンヤリしたり、頭痛がしたりするのを經驗された方が幾等もお有りでせうから申すまでも有りますまい。

以上のやうな意味から、受験勉強のお子様に榮養をも補ひ、胃腸をも強め、便通をもよくする目的にかなつたものとして、近頃一般の家庭で用ひられてゐる若素（わかもと）をお勸めいたします。これは普通の化學藥とちがつて、ヘーフエ菌といふ藥用微生物中の更に特殊な種類を選んで藥劑化したもので、各種の榮養素を含んでゐるのみならず、細胞賦活作用といふ身體のいろ／＼な器管の働きを強め、衰弱を恢復する作用がありますので、腦神經の過勞を防ぎ、食物の消化をもよくし、また便通をととのへるなど、受験勉強のお子様には是非常用されたい藥であります。連用しても少しも副作用なくまた味も少しも服み難くありません。

人工榮養と消化不良

我國の乳兒死亡率は千人中百三十人以上で、世界文明國中第一位にあり、その死亡原因の最も多數を占めるものは人工榮養兒の消化不良であります。

人工榮養料には牛乳、粉乳穀粉等が用ひられてゐますが何れも理想的なものでなく、爲に人工榮養兒は消化不良を起し易く、起せば重篤に陷ります。ところが若素（わかもと）をその榮養料中に混入するか、授乳の度毎に與へるかしますと、乳質が母乳に近く改善され、又直接乳兒の消化力も強められるので、消化不良の危險も防がれ、丈夫な發育をみるやうになります。

最近科學的に進んで來た 小兒肺炎の手當

部屋の密閉と濕布の是非

肺炎菌の擴大圖

流行性感冒の猖獗と共に、そろそろ肺炎が流行して來かけました。肺炎の恐ろしいのは經過が急激にやつてくることで、單に風邪をひいた位に思つてゐた人が、僅か數日にして斃れるといふ様なことも珍らしくありません。

小兒

は、罹患する率も多く死亡者も冬の病氣の中では最も多數を出して居る有様ですが、その手當法に至つては一般の家庭では昔のまゝの小さい部屋に締切つて、火を一杯にもつた金盥から湯氣をどん／＼立てたり、また間斷なく濕布させたりすることが唯一の方法の様に考へられて實行してゐる方が多いやうですが最近では專門家の間に流行しむしろ外國に於いても最近は行はれ出した大氣療法――即ち部屋の窓々をなるべく解放させて新鮮な空氣を呼吸させることがよく、

濕布

もむしろ頻繁に行ふ必要のある濕布などより、さうした必要のない芥子濕布で充分に治療を助ける目的にかなふとせられて來ました。

この方法によりますと、先づ在來の蒸し易い部屋で、いたづらにイラ／＼して食慾のなかつた子供がよく食べる様になつて參り、ついでよく眠り、呼吸は樂になつてきます。そして頻繁な濕布を廢した結果は、何よりも身體の安靜を守らせることが出來、弱つた心臟を疲勞させず、而も睡眠時も濕布を取換へなくても濟むから睡眠も充分とれると云ふのであります。

十分な榮養と安靜、そして睡眠は肺炎の治療に最も大切な鍵であり、この方法が有效であることは直に首肯できませう。

しかし一般家庭で之を行ふとなつては細心の注意が必要であつて窓を解放させても直接強い風に當てたりすると、體質的に弱い子供は直ぐに風邪をひいたり、また餘熱が亂んでくれば必然的に胃腸を害ふことも考へられます。

效果

斯うした場合に、これを豫防し體内から抵抗力を強めて效果を一層助長させる爲には適當な榮養劑が必要でありますが、それには現在微生物活性藥として、廣く小兒科領域に用ひられてゐる若素（わかもと）の服用が最も有效であります。

若素（わかもと）には脂肪、蛋白質、グリコーゲン、燐、鐵、ビタミンと云つた様な多種多様の榮養素、及び十數種の活性酵素といふ成分が含まれて居ります。この酵素は體内の各機能に活力を與へて、その働きを旺にする作用を有するのですが、殊に胃腸を丈夫にする作用が顯著で、消化吸收の働きを最めますから、榮養状態が良くなり抵抗力が強くなるのです。

ですからこの藥を日常服用させますと、かうした不安も自然と除かれてくる譯で、その豫防にはもとより、肺炎の治療はこの療法と相俟つて一層促進されてくるのであります。

なほこの若素（わかもと）は東京芝公園大門際、わかもと本舗榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇〇番）から三百錠入、千錠入の二種が一日僅々五六錢（小兒には一日僅かに二三錢）にも當らぬ廉價で發賣されてゐますが、近來その聲價を利用して、效果疑はしい類似藥（酵母、ビール酵母劑といふも、類似品です）をお薦めする藥店もありますから御注意下さい。

盗汗に惱まされた愛兒の肺炎が

（通信）白山美子

今より恰度二年前の秋、肺炎を致し長い間入院致して居りました長女（三歳――當時一歳）良くなりまして家に歸りましたが盗汗がひどく、上沼團までじつくり濡れる有様で、寝衣もさせられない位でありました。かゝりつけの醫者に診て頂きました處（中略）少し大きくなつて物を食べる様になるまでは、このまゝで居るよりほか仕方がないと云はれました。この盗汗のため日に寝物も四五回着せかへを致すため、子供は折角よくなつてゐた風邪を亦もとへ返すといふ繰返しで（中略）人様が良いといふ事は大概致しましたが結局悪くするばかりでした。

或日主人が店より歸り、土産にといひ「錠剤わかもと」を買つて參りました。（中略）早速服ませ始めました處、あれ程ひどかつた盗汗が、そのうちにきれいに治りました。その時の嬉しかつた事は、未だに忘れません。それに力を得、今もずつと一日も缺かさず服ませてゐます。子供はまめ／＼と喜んで食べます。此頃は風邪一つひかず毎日隣近所をして走り廻つてゐます（後略）